

第 68 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 3 年 8 月調査)

～景況感は 4 期連続で改善ながら、
先行きは悪化の見通し～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 2.0（前回調査比 13.0 ポイント上昇）と **4 期連続の改善**となり、2018 年 2 月以来 14 期ぶりに D I 値がプラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」がやや悪化となった一方、「売上高」「営業利益」は改善となり、「売上高」はプラスに転じた。「人員・人手」はプラス幅が大幅に拡大した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲6.8（前回調査比 9.1 ポイント下落）、製造業が 6.8（前回調査比 17.1 ポイント上昇）、卸・小売業が▲4.1（前回調査比 8.2 ポイント上昇）、サービス業が 11.3（前回調査比 33.5 ポイント上昇）と、建設業で悪化、その他の 3 業種で改善となった。建設業は D I 値が再びマイナスに転じた一方で、製造業とサービス業はコロナ禍の影響を受けた前年の反動で大幅に上昇し、プラスに転じた。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が 3.7（前回調査比 16.8 ポイント上昇）、村山北部が 7.9（前回調査比 17.4 ポイント上昇）、最上が 0.0（前回調査比 17.5 ポイント上昇）、置賜が 5.4（前回調査比 26.1 ポイント上昇）、庄内田川が▲1.5（前回調査比 4.2 ポイント下落）、庄内飽海が▲2.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）と、庄内田川で悪化、その他の 5 地域で改善となった。村山南部、村山北部、置賜は D I 値がプラスに、庄内田川は再びマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲15.5（今回調査比 17.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。コロナ禍の影響によって大きく落ち込んだ前年の反動も含め、景況感には持ち直しの動きがみられるものの、全国的な感染再拡大などから先行きへの警戒感は依然強く、慎重な見通しは今後も続くものと考えられる。

【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、全業種でみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は 39.7%と、前年度に比べ 6.0 ポイントの上昇となった。一方、「実施しない」は 42.0%と 6.9 ポイントの低下となった。

令和 3 年 9 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

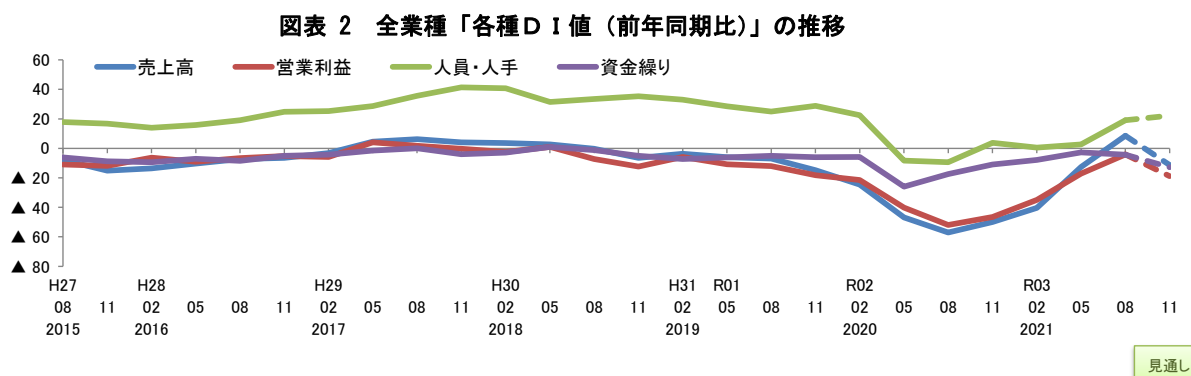
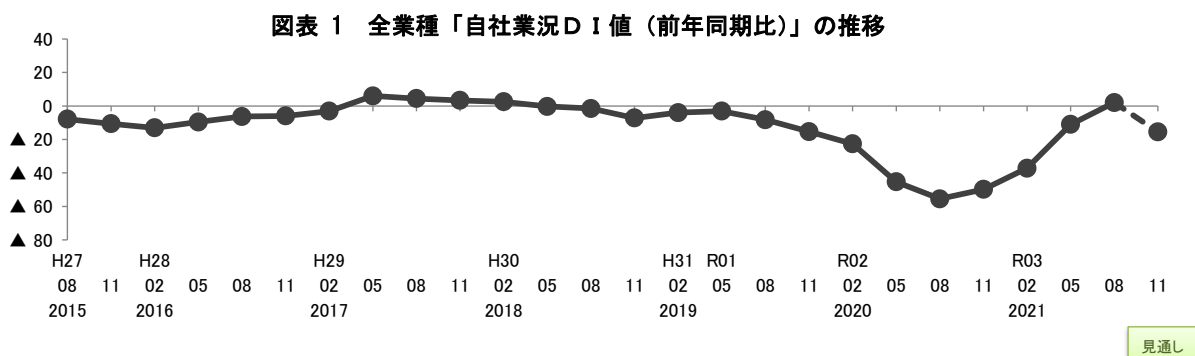
I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最 上	10
④	置 賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向について	15
(1)	設備投資動向	15
(2)	設備投資金額	18
(3)	設備投資目的	19
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		21
<参考資料 II : 調査の概要>		21

I. 県内企業の業況

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 2.0（前回調査比 13.0 ポイント上昇）と 4 期連続の改善となり、2018 年 2 月以来 14 期ぶりに D I 値がプラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」がやや悪化となった一方、「売上高」「営業利益」は改善となり、「売上高」はプラスに転じた。「人員・人手」はプラス幅が大幅に拡大した。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲15.5（今回調査比 17.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。コロナ禍の影響によって大きく落ち込んだ前年の反動も含め、景況感には持ち直しの動きがみられるものの、全国的な感染再拡大などから先行きへの警戒感は依然強く、慎重な見通しは今後も続くものと考えられる。



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 02. 08 (n=413)	▲ 55.5	(▲ 10.2)	▲ 67.2	▲ 57.1	▲ 52.0	▲ 9.4	▲ 17.4
R 02. 11 (n=408)	▲ 49.8	(5.7)	▲ 50.6	▲ 50.0	▲ 46.6	3.7	▲ 11.0
R 03. 02 (n=397)	▲ 37.2	(12.6)	▲ 28.7	▲ 40.3	▲ 35.0	0.5	▲ 7.8
R 03. 05 (n=409)	▲ 11.0	(26.2)	▲ 39.6	▲ 12.7	▲ 17.1	2.7	▲ 2.7
R 03. 08 (n=393)	2.0	(13.0)	▲ 16.2	8.6	▲ 4.1	19.0	▲ 4.3
前回調査比	－	－	－	(21.3)	(13.0)	(16.3)	(▲ 1.6)
先行き見通し	▲ 15.5	－	－	▲ 11.2	▲ 18.8	22.1	▲ 12.8
今回調査比	(▲ 17.5)	－	－	(▲ 19.8)	(▲ 14.7)	(3.1)	(▲ 8.5)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

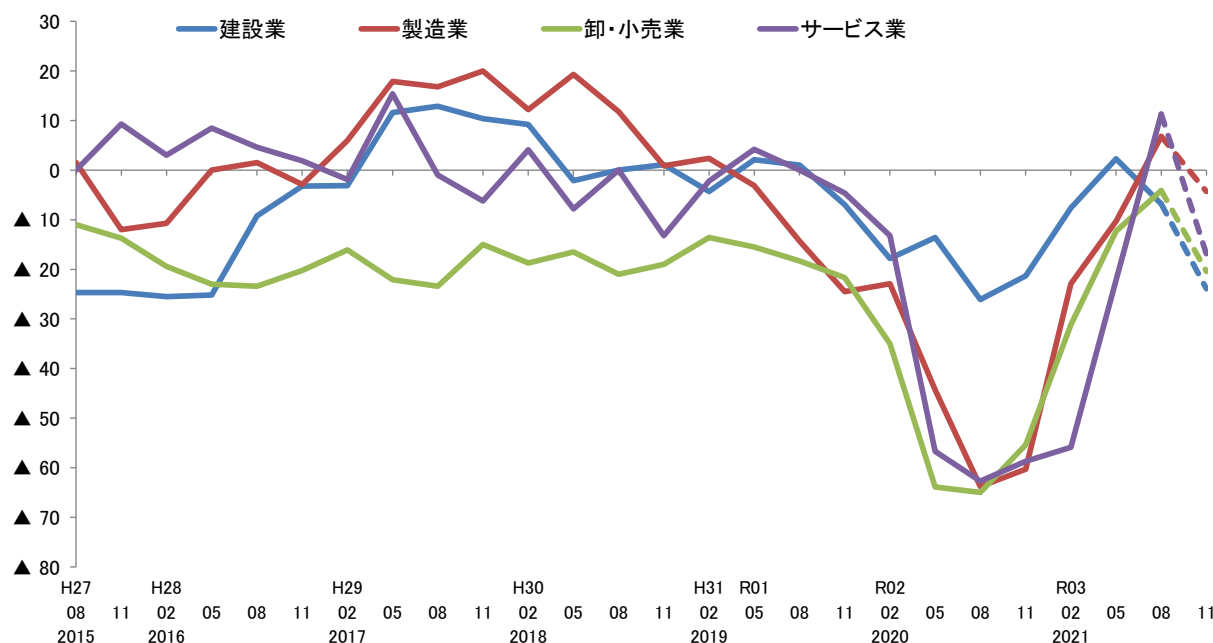
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲6.8（前回調査比 9.1 ポイント下落）、製造業が 6.8（前回調査比 17.1 ポイント上昇）、卸・小売業が▲4.1（前回調査比 8.2 ポイント上昇）、サービス業が 11.3（前回調査比 33.5 ポイント上昇）と、建設業で悪化、その他の 3 業種で改善となった。建設業は D I 値が再びマイナスに転じた一方で、製造業とサービス業はコロナ禍の影響を受けた前年の反動で大幅に上昇し、プラスに転じた。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 02. 08 (n=413)	▲ 55.5	▲ 26.1	▲ 63.8	▲ 65.0	▲ 62.7
R 02. 11 (n=408)	▲ 49.8	▲ 21.3	▲ 60.3	▲ 55.4	▲ 58.7
R 03. 02 (n=397)	▲ 37.2	▲ 7.6	▲ 22.9	▲ 31.2	▲ 55.9
R 03. 05 (n=409)	▲ 11.0	2.3	▲ 10.3	▲ 12.3	▲ 22.2
R 03. 08 (n=393)	2.0	▲ 6.8	6.8	▲ 4.1	11.3
前回調査比	(13.0)	(▲ 9.1)	(17.1)	(8.2)	(33.5)
先行き見通し	▲ 15.5	▲ 23.9	▲ 4.3	▲ 20.4	▲ 16.9
今回調査比	(▲ 17.5)	(▲ 17.1)	(▲ 11.1)	(▲ 16.3)	(▲ 28.2)

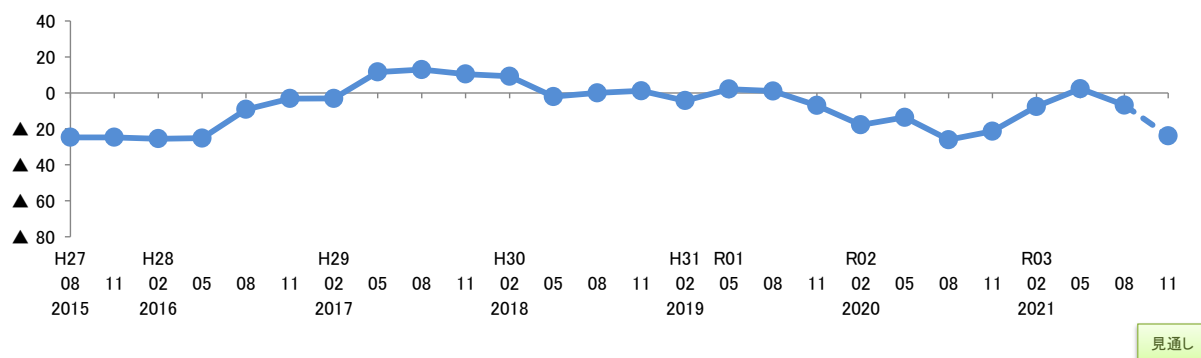
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

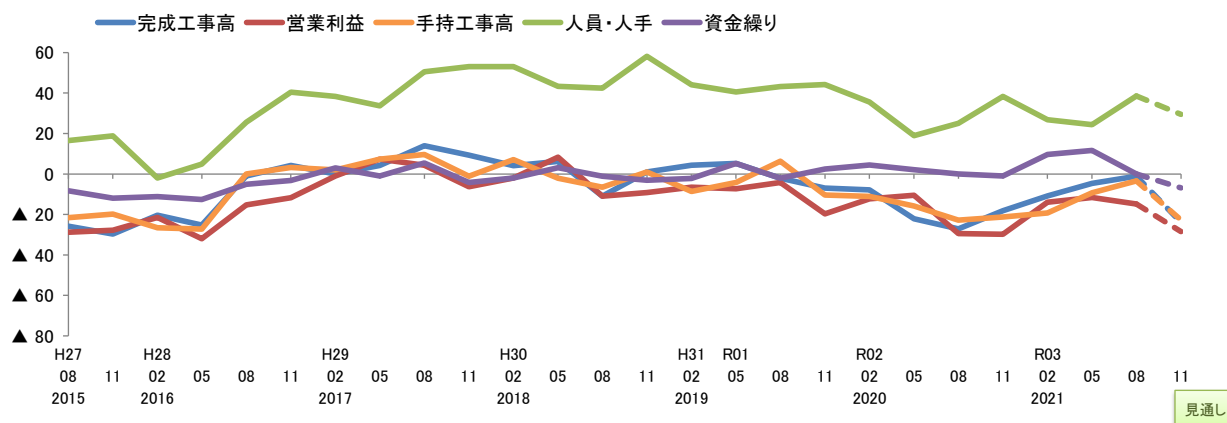
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.8（前回調査比 9.1 ポイント下落）と、4 期ぶりの悪化となり、再びマイナスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」「営業利益」は悪化、「完成工事高」「手持工事高」は改善した。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントによると、新型コロナウイルスの影響は企業ごとにばらつきがみられる。また、ウッドショックによる木材の価格高騰に加えて、その他の資材にも値上がりの動きがあることから利益率の低下を危惧する様子がみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲23.9（今回調査比 17.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

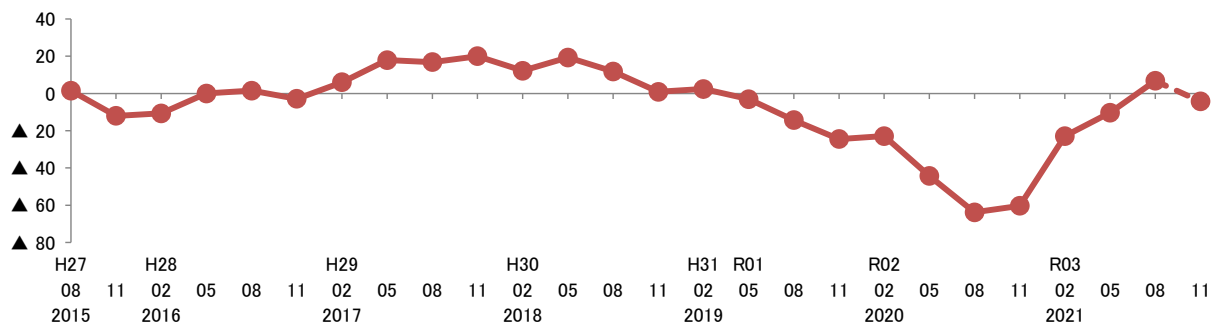
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 02. 08 (n=92)	▲ 26.1	(▲ 12.5)	▲ 49.5	▲ 27.1	▲ 29.4	▲ 22.8	25.0	0.0
R 02. 11 (n=94)	▲ 21.3	(4.8)	▲ 36.9	▲ 18.1	▲ 29.8	▲ 21.3	38.3	▲ 1.0
R 03. 02 (n=93)	▲ 7.6	(13.7)	▲ 26.6	▲ 10.8	▲ 13.9	▲ 19.3	26.8	9.7
R 03. 05 (n=86)	2.3	(9.9)	▲ 37.6	▲ 4.6	▲ 11.6	▲ 9.3	24.4	11.6
R 03. 08 (n=88)	▲ 6.8	(▲ 9.1)	▲ 16.3	▲ 1.1	▲ 14.8	▲ 3.4	38.6	0.0
前回調査比	-	-	-	(3.5)	(▲ 3.2)	(5.9)	(14.2)	(▲ 11.6)
先行き見通し	▲ 23.9	-	-	▲ 23.9	▲ 28.4	▲ 22.7	29.5	▲ 6.9
今回調査比	(▲ 17.1)	-	-	(▲ 22.8)	(▲ 13.6)	(▲ 19.3)	(▲ 9.1)	(▲ 6.9)

② 製造業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 6.8（前回調査比 17.1 ポイント上昇）と 4 期連続で改善し、10 期ぶりにプラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」と「資金繰り」が悪化した一方、「売上高」「営業利益」「在庫状況」は改善し、「売上高」はプラスに転じた。「人員・人手」は上昇し、再びプラスに転じた。各社のコメントから、自動車や半導体関連などでは受注が増加傾向にあるものの、仕入価格の上昇や流通状況の悪化、電子部品の供給不足等の影響を受けて先行きに対する不透明感は依然続いている。食品関連では巣ごもり需要に一服感がみられ、外食向けの需要も回復には至っていないことから今後の動向を不安視している状況が見受けられる。

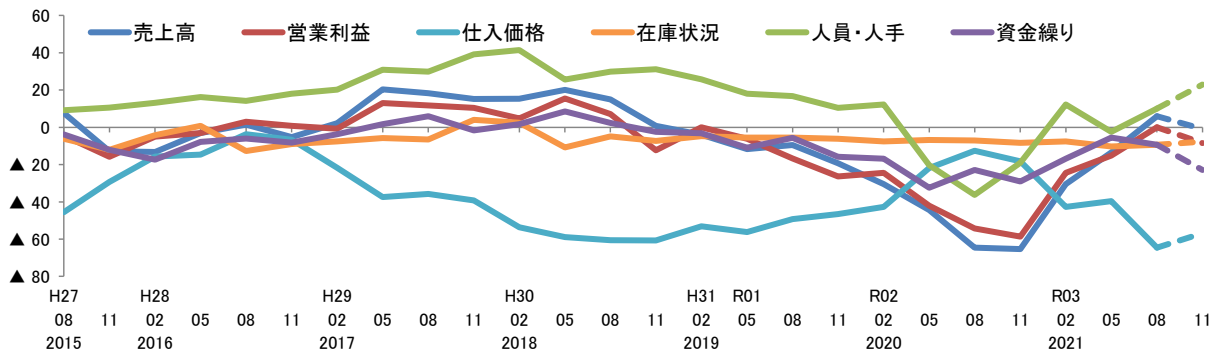
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲4.3（今回調査比 11.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

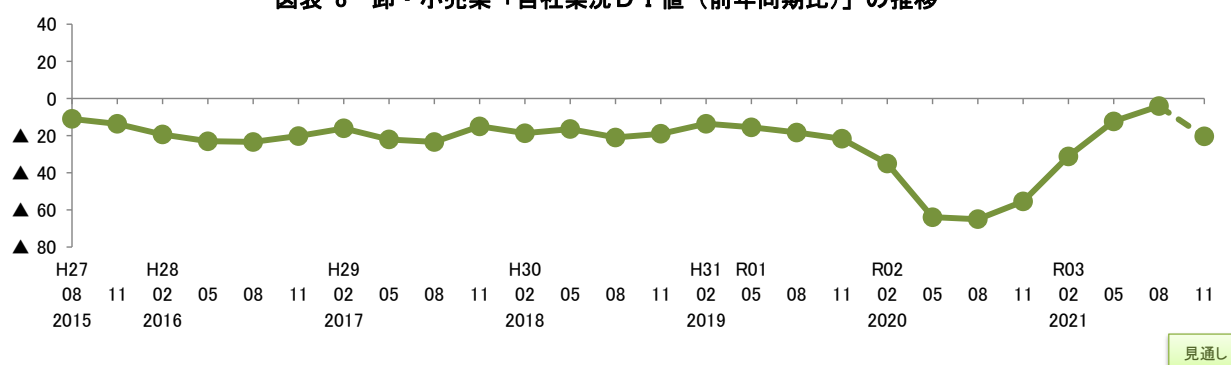
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 02. 08 (n=127)	▲ 63.8	(▲ 19.5)	▲ 62.4	▲ 64.6	▲ 54.3	▲ 12.6	▲ 7.1	▲ 36.2	▲ 22.9
R 02. 11 (n=121)	▲ 60.3	(3.5)	▲ 48.8	▲ 65.3	▲ 58.7	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 19.0	▲ 29.0
R 03. 02 (n=118)	▲ 22.9	(37.4)	▲ 26.4	▲ 30.5	▲ 24.4	▲ 42.7	▲ 7.6	12.2	▲ 16.8
R 03. 05 (n=126)	▲ 10.3	(12.6)	▲ 29.0	▲ 13.5	▲ 15.1	▲ 39.6	▲ 10.3	▲ 2.4	▲ 5.5
R 03. 08 (n=118)	6.8	(17.1)	▲ 8.7	5.9	0.0	▲ 64.5	▲ 9.3	10.1	▲ 9.3
前回調査比	-	-	-	(19.4)	(15.1)	(▲ 24.9)	(1.0)	(12.5)	(▲ 3.8)
先行き見通し	▲ 4.3	-	-	▲ 0.9	▲ 8.5	▲ 56.8	▲ 7.7	22.9	▲ 22.9
今回調査比	(▲ 11.1)	-	-	(▲ 6.8)	(▲ 8.5)	(7.7)	(1.6)	(12.8)	(▲ 13.6)

③ 卸・小売業

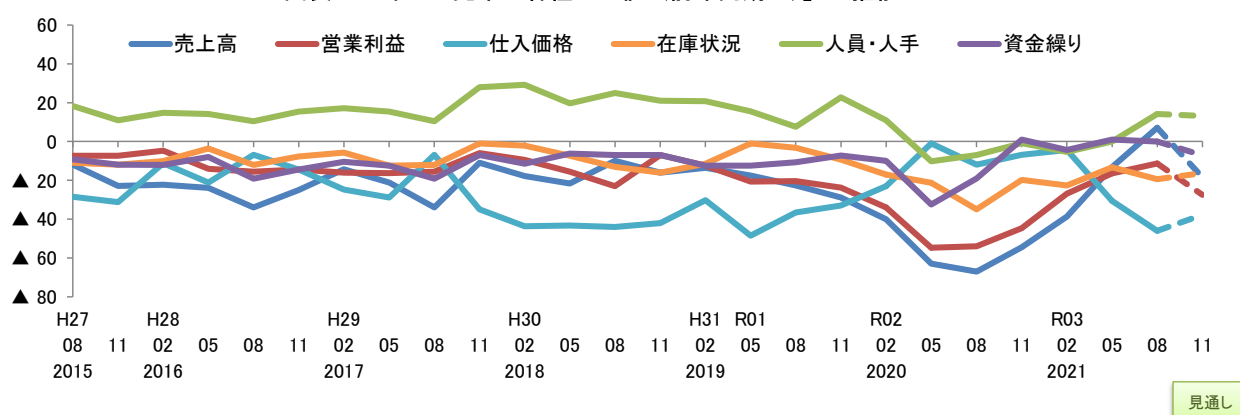
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲4.1（前回調査比 8.2 ポイント上昇）と 4 期連続で改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」「在庫状況」「資金繰り」が悪化、「売上高」「営業利益」が改善となり、「売上高」はプラスに転じた。「人員・人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントから、宴会や外食の縮小傾向に伴い特に飲食店向けの企業で厳しい状況が続いている状況がうかがえる。一方で、エアコンや夏物商品など一部では売上が好調に推移したものの、半導体不足等によって品切れや納期の遅れが発生し、仕入れが困難になるケースもみられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.4（今回調査比 16.3 ポイント下落）と、悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

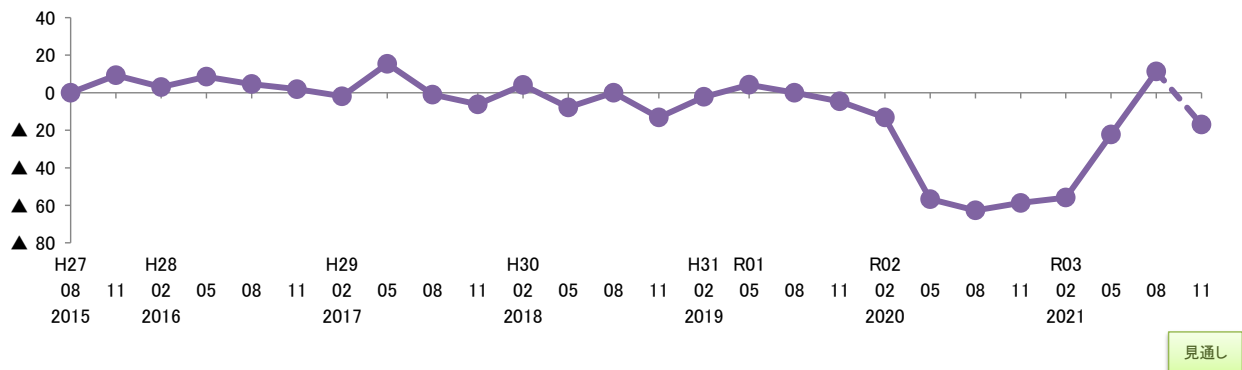
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業 利益	仕入 価格	在庫 状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 02. 08（n=100）	▲ 65.0	（▲ 1.1）	▲ 79.6	▲ 67.0	▲ 54.0	▲ 12.0	▲ 35.0	▲ 7.0	▲ 19.0
R 02. 11（n=101）	▲ 55.4	（9.6）	▲ 60.0	▲ 54.5	▲ 44.6	▲ 6.9	▲ 19.8	▲ 0.9	1.0
R 03. 02（n=93）	▲ 31.2	（24.2）	▲ 31.7	▲ 38.7	▲ 26.9	▲ 4.3	▲ 22.6	▲ 5.4	▲ 4.3
R 03. 05（n=98）	▲ 12.3	（18.9）	▲ 37.6	▲ 13.2	▲ 16.4	▲ 30.6	▲ 13.3	0.0	1.0
R 03. 08（n=98）	▲ 4.1	（8.2）	▲ 22.4	7.1	▲ 11.3	▲ 46.0	▲ 19.4	14.2	0.0
前回調査比	－	－	－	（20.3）	（5.1）	（▲ 15.4）	（▲ 6.1）	（14.2）	（▲ 1.0）
先行き見通し	▲ 20.4	－	－	▲ 18.4	▲ 27.5	▲ 37.8	▲ 16.3	13.2	▲ 7.1
今回調査比	（▲ 16.3）	－	－	（▲ 25.5）	（▲ 16.2）	（8.2）	（3.1）	（▲ 1.0）	（▲ 7.1）

④ サービス業

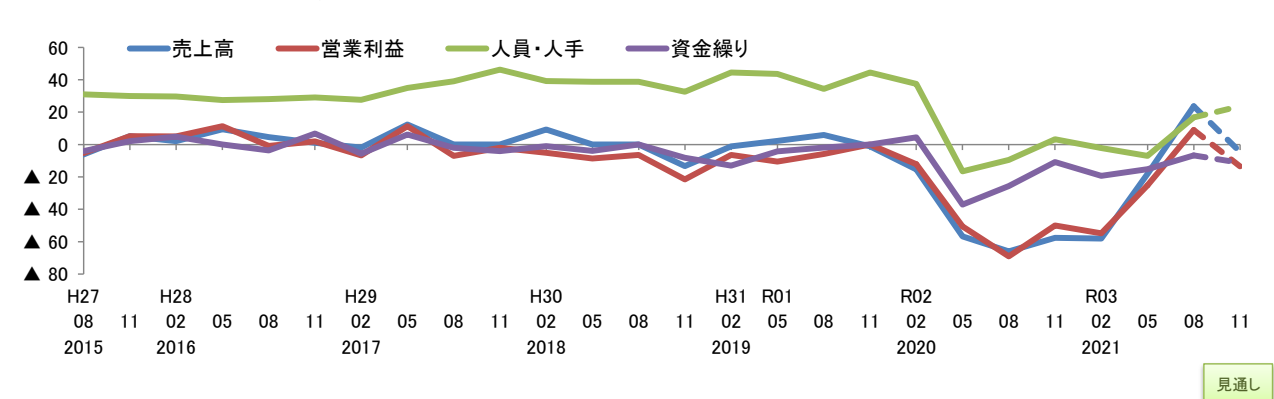
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 11.3（前回調査比 33.5 ポイント上昇）と大幅に改善し、9 期ぶりにプラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」は改善し、「売上高」「営業利益」はプラスに転じた。「人員・人手」は 3 期ぶりに上昇し、プラスに転じた。各社のコメントから、宿泊観光業では長距離移動の自粛が続く中で大都市圏からの誘客は難しいものの、割引クーポンやキャンペーンなどを利用する県内客の増加を業況の回復につなげる動きが見受けられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲16.9（今回調査比 28.2 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 02.08 (n=94)	▲ 62.7	(▲ 6.0)	▲ 77.4	▲ 66.0	▲ 69.1	▲ 9.5	▲ 25.6
R 02.11 (n=92)	▲ 58.7	(4.0)	▲ 56.4	▲ 57.6	▲ 50.0	3.2	▲ 10.9
R 03.02 (n=93)	▲ 55.9	(2.8)	▲ 30.5	▲ 58.1	▲ 54.8	▲ 2.2	▲ 19.3
R 03.05 (n=99)	▲ 22.2	(33.7)	▲ 47.3	▲ 18.2	▲ 25.2	▲ 7.1	▲ 15.2
R 03.08 (n=89)	11.3	(33.5)	▲ 19.2	23.6	9.0	16.8	▲ 6.7
前回調査比	-	-	-	(41.8)	(34.2)	(23.9)	(8.5)
先行き見通し	▲ 16.9	-	-	▲ 4.5	▲ 13.5	23.6	▲ 11.3
今回調査比	(▲ 28.2)	-	-	(▲ 28.1)	(▲ 22.5)	(6.8)	(▲ 4.6)

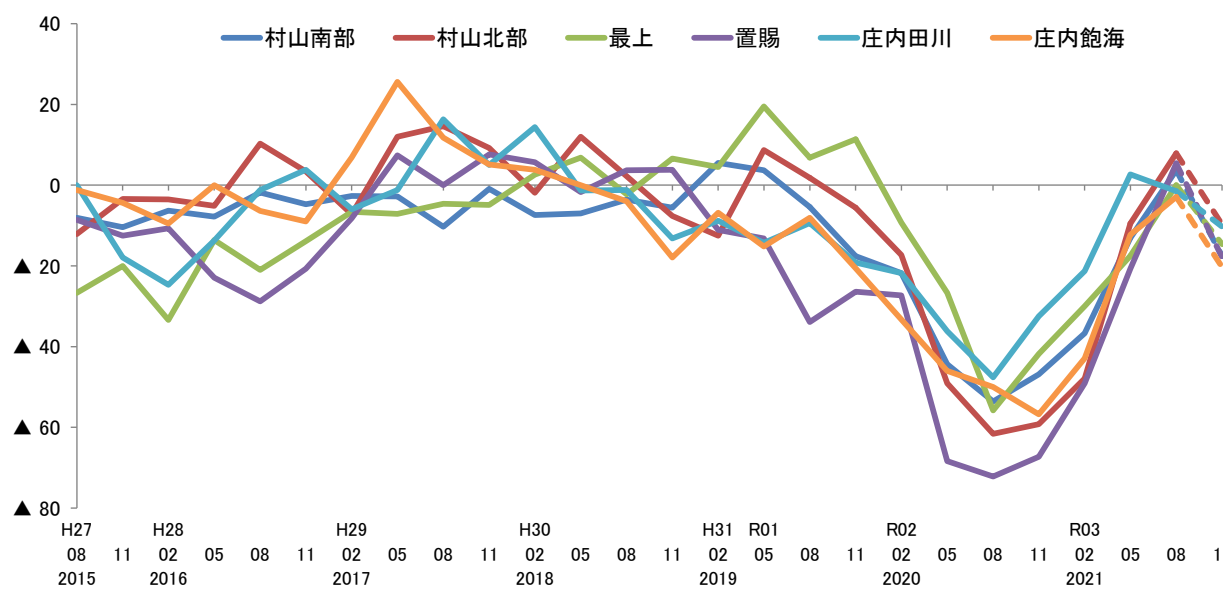
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が 3.7（前回調査比 16.8 ポイント上昇）、村山北部が 7.9（前回調査比 17.4 ポイント上昇）、最上が 0.0（前回調査比 17.5 ポイント上昇）、置賜が 5.4（前回調査比 26.1 ポイント上昇）、庄内田川が▲1.5（前回調査比 4.2 ポイント下落）、庄内飽海が▲2.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）と、庄内田川で悪化、その他の 5 地域で改善となった。村山南部、村山北部、置賜は D I 値がプラスに、庄内田川は再びマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 02.08 (n=413)	▲ 55.5	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 55.8	▲ 72.2	▲ 47.6	▲ 50.0
R 02.11 (n=408)	▲ 49.8	▲ 46.9	▲ 59.2	▲ 41.8	▲ 67.3	▲ 32.5	▲ 56.8
R 03.02 (n=397)	▲ 37.2	▲ 36.7	▲ 47.9	▲ 30.0	▲ 49.1	▲ 21.3	▲ 42.9
R 03.05 (n=409)	▲ 11.0	▲ 13.1	▲ 9.5	▲ 17.5	▲ 20.7	2.7	▲ 12.3
R 03.08 (n=393)	2.0	3.7	7.9	0.0	5.4	▲ 1.5	▲ 2.9
前回調査比	(13.0)	(16.8)	(17.4)	(17.5)	(26.1)	(▲ 4.2)	(9.4)
先行き見通し	▲ 15.5	▲ 17.6	▲ 9.8	▲ 14.6	▲ 17.9	▲ 10.3	▲ 20.3
今回調査比	(▲ 17.5)	(▲ 21.3)	(▲ 17.7)	(▲ 14.6)	(▲ 23.3)	(▲ 8.8)	(▲ 17.4)

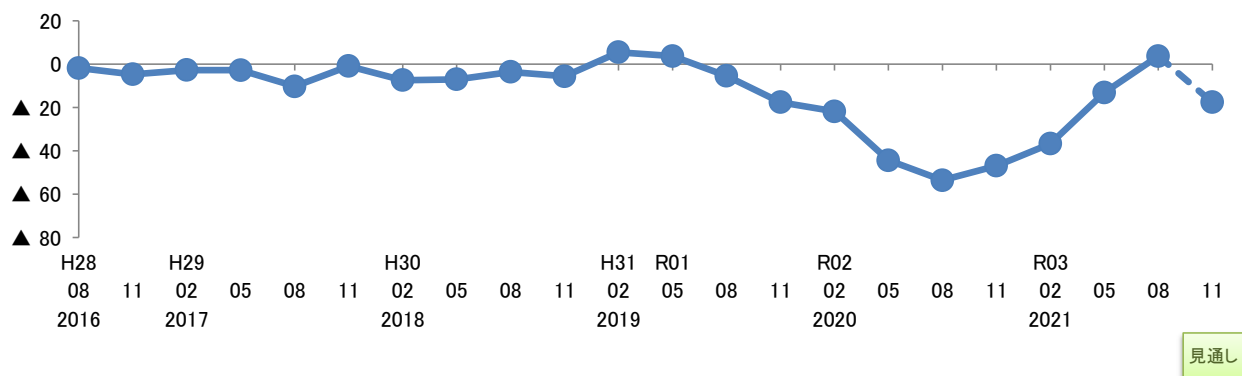
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

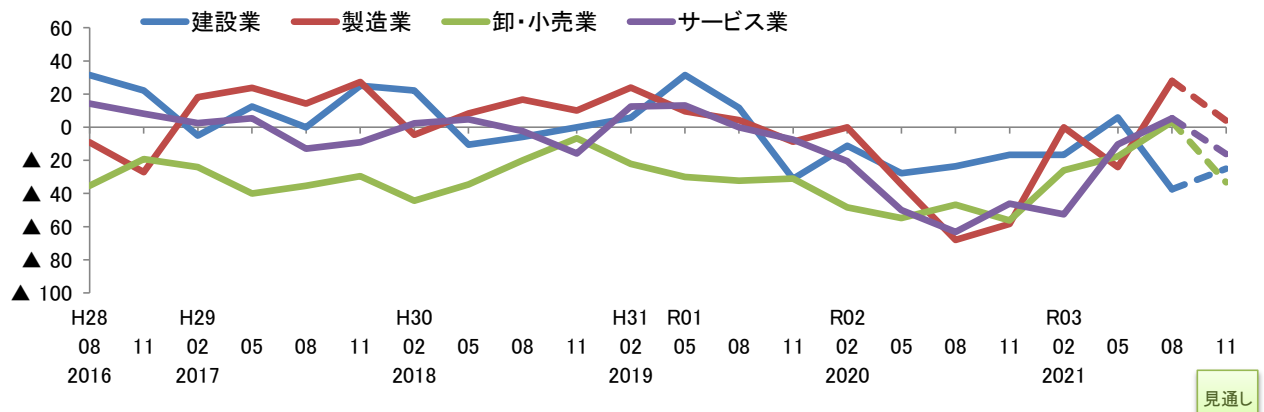
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 3.7（前回調査比 16.8 ポイント上昇）と 4 期連続で改善となり、9 期ぶりにプラスに転じた。業種別にみると、建設業で大幅に悪化となり D I 値がマイナスに転じ、その他の 3 業種で改善となり D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲17.6（今回調査比 21.3 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

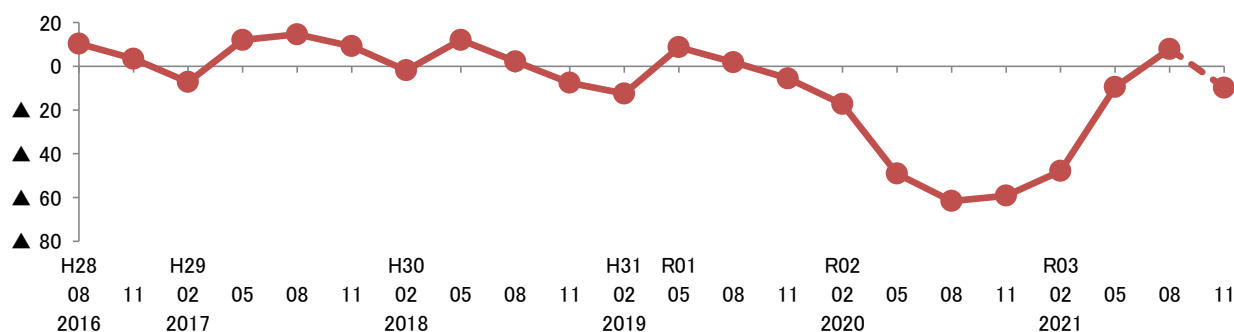
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 02. 08 (n=110)	▲ 53. 6	(▲ 9. 2)	▲ 68. 7	▲ 23. 6	▲ 68. 0	▲ 46. 7	▲ 63. 2
R 02. 11 (n=113)	▲ 46. 9	(6. 7)	▲ 46. 3	▲ 16. 6	▲ 58. 4	▲ 56. 2	▲ 46. 2
R 03. 02 (n=109)	▲ 36. 7	(10. 2)	▲ 26. 5	▲ 16. 7	0. 0	▲ 26. 0	▲ 52. 5
R 03. 05 (n=115)	▲ 13. 1	(23. 6)	▲ 28. 5	5. 9	▲ 24. 0	▲ 17. 7	▲ 10. 3
R 03. 08 (n=108)	3. 7	(16. 8)	▲ 16. 5	▲ 37. 5	28. 0	3. 3	5. 4
前回調査比	-	-	-	(▲ 43. 4)	(52. 0)	(21. 0)	(15. 7)
先行き見通し	▲ 17. 6	-	-	▲ 25. 0	4. 0	▲ 33. 3	▲ 16. 2
今回調査比	(▲ 21. 3)	-	8	(12. 5)	(▲ 24. 0)	(▲ 36. 6)	(▲ 21. 6)

② 村山北部

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 7.9（前回調査比 17.4 ポイント上昇）と 4 期連続で改善となり、8 期ぶりにプラスに転じた。業種別にみると、すべての業種で改善となっている。

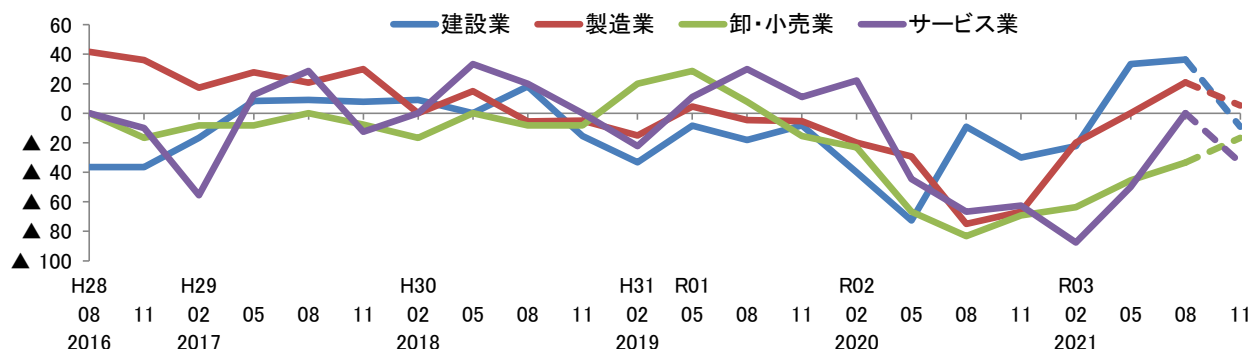
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.8（今回調査比 17.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

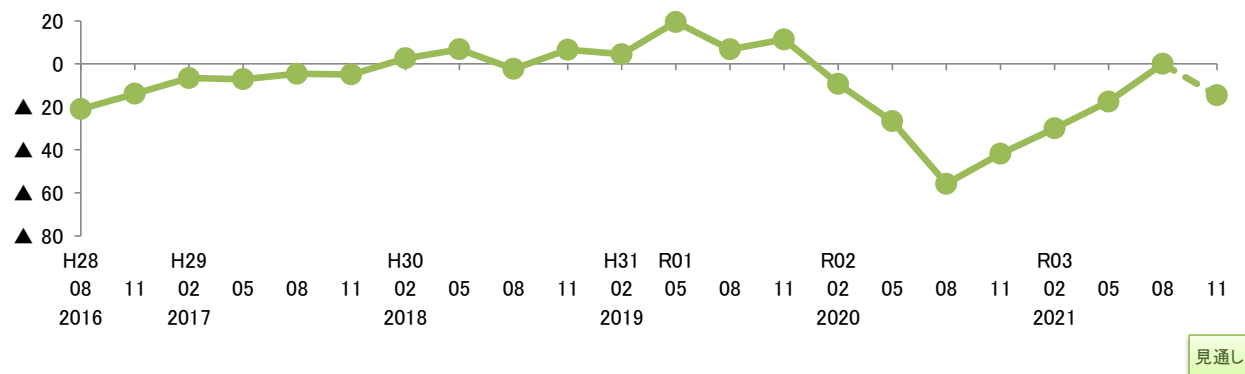
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 02. 08 (n=52)	▲ 61.6	(▲ 12.5)	▲ 66.1	▲ 9.1	▲ 75.0	▲ 83.3	▲ 66.7
R 02. 11 (n=49)	▲ 59.2	(2.4)	▲ 57.7	▲ 30.0	▲ 66.7	▲ 69.2	▲ 62.5
R 03. 02 (n=48)	▲ 47.9	(11.3)	▲ 30.7	▲ 22.2	▲ 20.0	▲ 63.6	▲ 87.5
R 03. 05 (n=53)	▲ 9.5	(38.4)	▲ 39.6	33.4	0.0	▲ 45.5	▲ 50.0
R 03. 08 (n=51)	7.9	(17.4)	13.2	36.4	21.0	▲ 33.4	0.0
前回調査比	-	-	-	(3.0)	(21.0)	(12.1)	(50.0)
先行き見通し	▲ 9.8	-	-	▲ 9.1	5.2	▲ 16.7	▲ 33.4
今回調査比	(▲ 17.7)	-	-	(▲ 45.5)	(▲ 15.8)	(16.7)	(▲ 33.4)

③ 最 上

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 0.0（前回調査比 17.5 ポイント上昇）と 4 期連続で改善となった。業種別にみると、卸・小売業は横ばい、その他の 3 業種で改善、サービス業で D I 値がプラスに転じた。

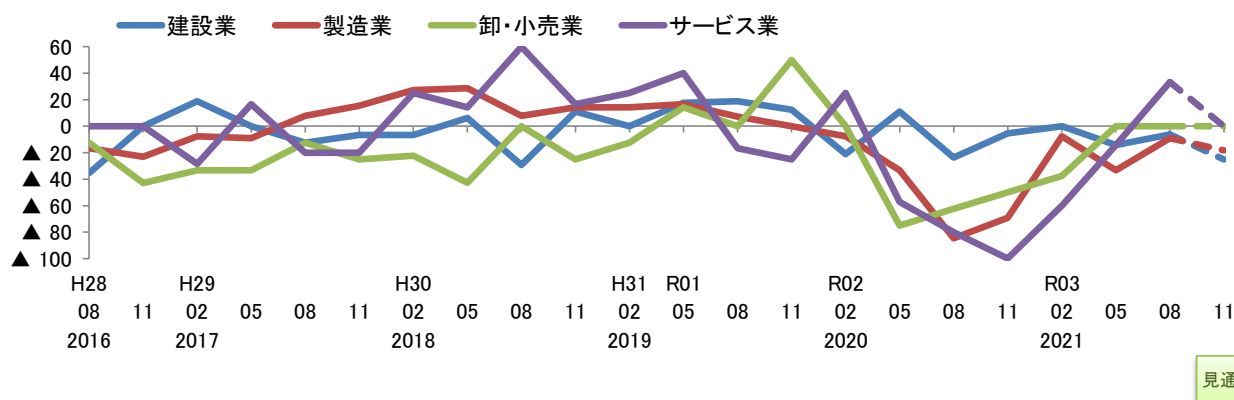
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.6（今回調査比 14.6 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

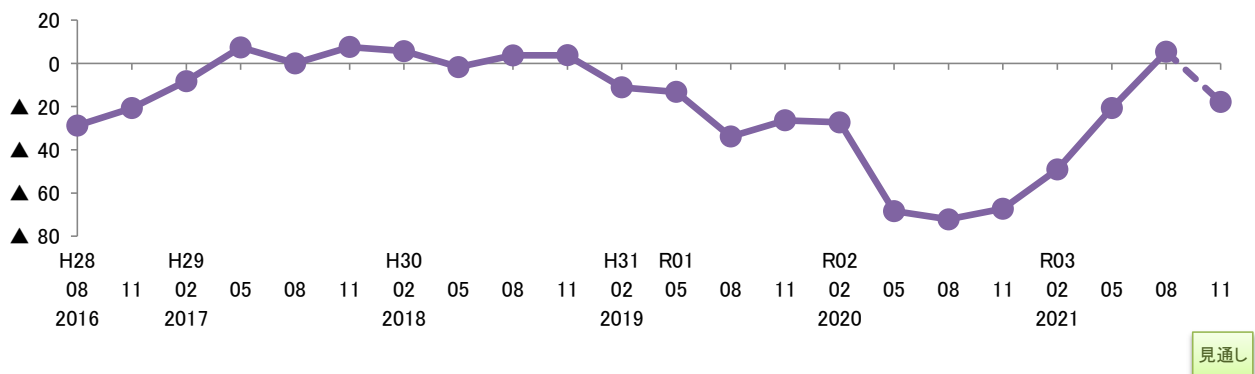
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 02. 08 (n=43)	▲ 55.8	(▲ 29.1)	▲ 68.9	▲ 23.6	▲ 84.6	▲ 62.5	▲ 80.0
R 02. 11 (n=43)	▲ 41.8	(14.0)	▲ 39.5	▲ 5.5	▲ 69.2	▲ 50.0	▲ 100.0
R 03. 02 (n=40)	▲ 30.0	(11.8)	▲ 27.9	0.0	▲ 7.7	▲ 37.5	▲ 60.0
R 03. 05 (n=40)	▲ 17.5	(12.5)	▲ 40.0	▲ 14.3	▲ 33.3	0.0	▲ 14.3
R 03. 08 (n=41)	0.0	(17.5)	▲ 35.0	▲ 6.3	▲ 9.1	0.0	33.3
前回調査比	-	-	-	(8.0)	(24.2)	(0.0)	(47.6)
先行き見通し	▲ 14.6	-	-	▲ 25.0	▲ 18.2	0.0	0.0
今回調査比	(▲ 14.6)	-	-	(▲ 18.7)	(▲ 9.1)	(0.0)	(▲ 33.3)

④ 置 賜

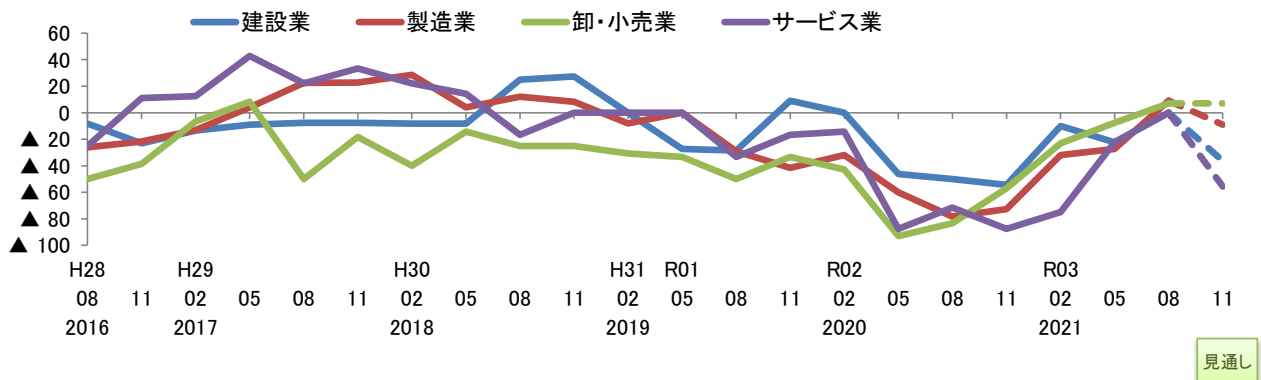
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 5.4（前回調査比 26.1 ポイント上昇）と 4 期連続で改善となり、11 期ぶりにプラスに転じた。業種別にみると、すべての業種で改善となり、製造業と卸・小売業で D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲17.9（今回調査比 23.3 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

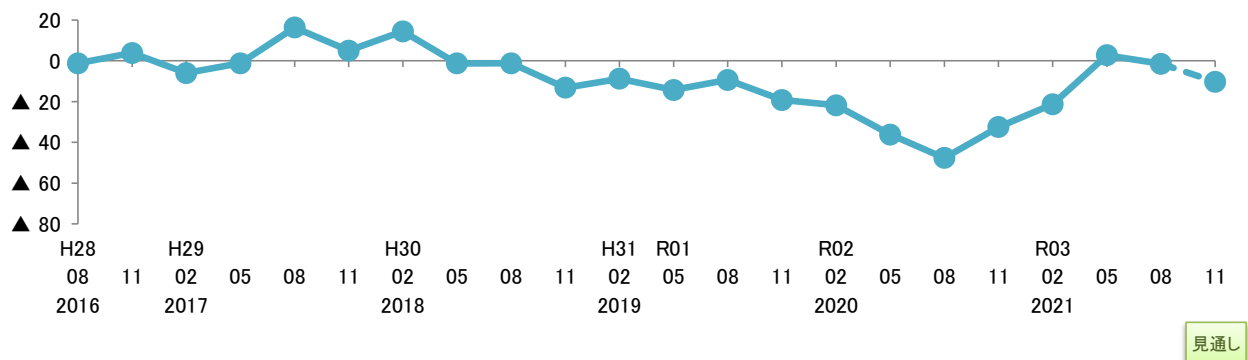
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 02. 08 (n=54)	▲ 72. 2	(▲ 3. 8)	▲ 68. 3	▲ 50. 0	▲ 78. 3	▲ 83. 3	▲ 71. 4
R 02. 11 (n=55)	▲ 67. 3	(4. 9)	▲ 48. 1	▲ 54. 5	▲ 72. 7	▲ 57. 1	▲ 87. 5
R 03. 02 (n=55)	▲ 49. 1	(18. 2)	▲ 27. 3	▲ 10. 0	▲ 32. 0	▲ 23. 0	▲ 75. 0
R 03. 05 (n=53)	▲ 20. 7	(28. 4)	▲ 54. 5	▲ 22. 2	▲ 27. 3	▲ 7. 7	▲ 22. 2
R 03. 08 (n=56)	5. 4	(26. 1)	▲ 30. 2	0. 0	9. 1	7. 1	0. 0
前回調査比	-	-	-	(22. 2)	(36. 4)	(14. 8)	(22. 2)
先行き見通し	▲ 17. 9	-	-	▲ 36. 4	▲ 9. 1	7. 1	▲ 55. 6
今回調査比	(▲ 23. 3)	-	-	(▲ 36. 4)	(▲ 18. 2)	(0. 0)	(▲ 55. 6)

⑤ 庄内田川

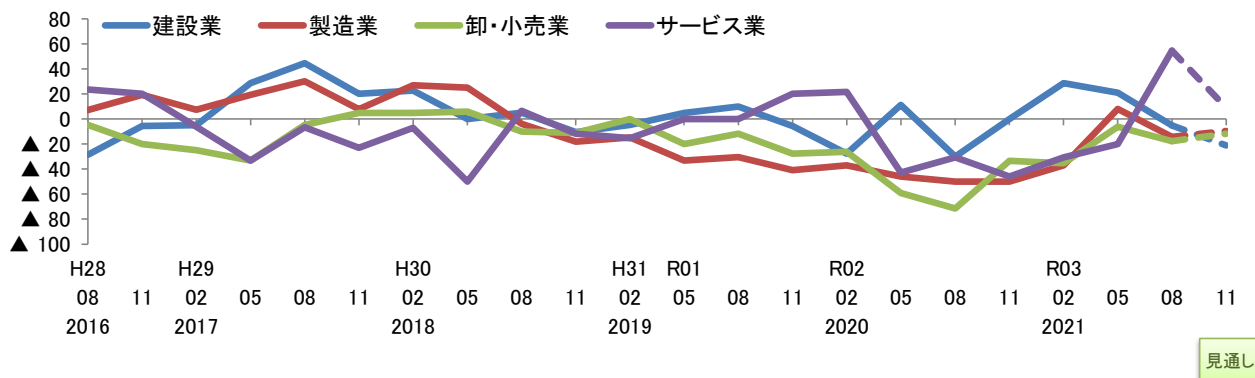
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.5（前回調査比 4.2 ポイント下落）と 4 期ぶりに悪化となり、再びマイナスに転じた。業種別にみると、サービス業で大幅に改善となり D I 値がプラスに転じ、その他の 3 業種で悪化となり、建設業と製造業で D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.3（今回調査 8.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

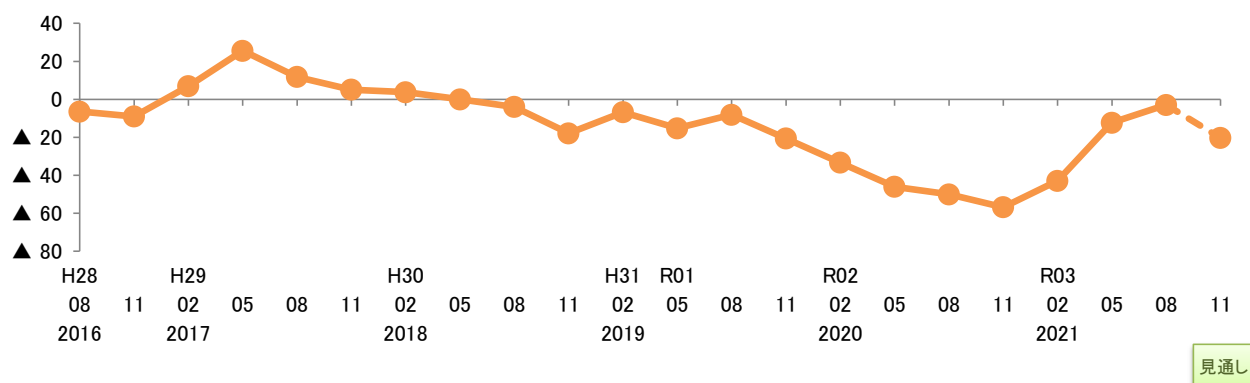
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 02. 08 (n=82)	▲ 47.6	(▲ 11.4)	▲ 63.7	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 71.5	▲ 30.8
R 02. 11 (n=74)	▲ 32.5	(15.1)	▲ 51.3	0.0	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 46.1
R 03. 02 (n=75)	▲ 21.3	(11.2)	▲ 22.9	28.6	▲ 37.0	▲ 35.3	▲ 30.8
R 03. 05 (n=75)	2.7	(24.0)	▲ 41.3	21.0	8.0	▲ 6.3	▲ 20.0
R 03. 08 (n=68)	▲ 1.5	(▲ 4.2)	▲ 17.4	▲ 5.3	▲ 14.3	▲ 17.7	54.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 26.3)	(▲ 22.3)	(▲ 11.4)	(74.5)
先行き見通し	▲ 10.3	-	-	▲ 21.1	▲ 9.6	▲ 11.8	9.1
今回調査比	(▲ 8.8)	-	-	(▲ 15.8)	(4.7)	(5.9)	(▲ 45.4)

⑥ 庄内飽海

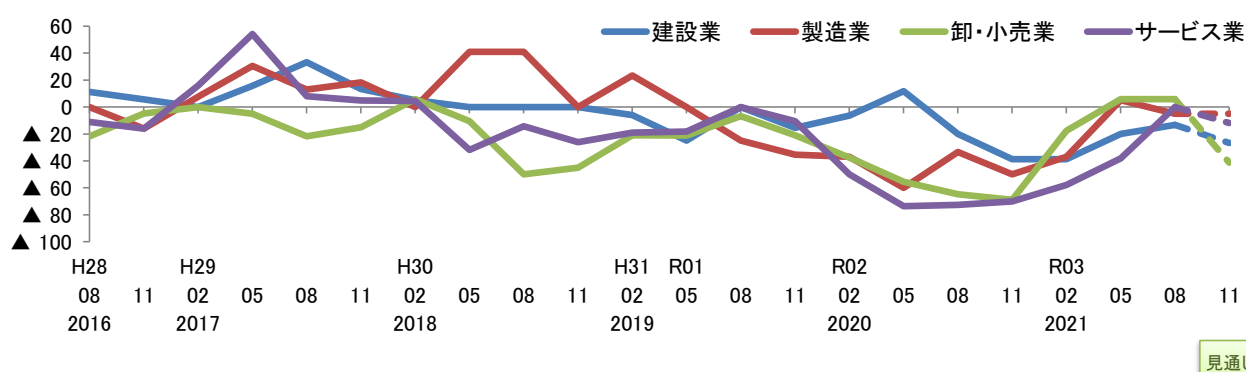
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲2.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。業種別にみると、卸・小売業は横ばい、建設業とサービス業で改善、製造業で悪化となった。製造業は D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.3（今回調査比 17.4 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 02. 08 (n=72)	▲ 50.0	(▲ 4.0)	▲ 67.5	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 64.7	▲ 72.7
R 02. 11 (n=74)	▲ 56.8	(▲ 6.8)	▲ 59.7	▲ 38.8	▲ 50.0	▲ 68.8	▲ 70.0
R 03. 02 (n=70)	▲ 42.9	(13.9)	▲ 37.8	▲ 38.8	▲ 36.9	▲ 17.6	▲ 57.9
R 03. 05 (n=73)	▲ 12.3	(30.6)	▲ 42.8	▲ 20.0	5.0	5.9	▲ 38.1
R 03. 08 (n=69)	▲ 2.9	(9.4)	▲ 15.1	▲ 13.3	▲ 5.0	5.9	0.0
前回調査比	-	-	-	(6.7)	(▲ 10.0)	(0.0)	(38.1)
先行き見通し	▲ 20.3	-	-	▲ 26.7	▲ 5.0	▲ 41.2	▲ 11.8
今回調査比	(▲ 17.4)	-	-	(▲ 13.4)	(0.0)	(▲ 47.1)	(▲ 11.8)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$DI \geq 30$	$30 > DI \geq 10$	$10 > DI \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > DI \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > DI$



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

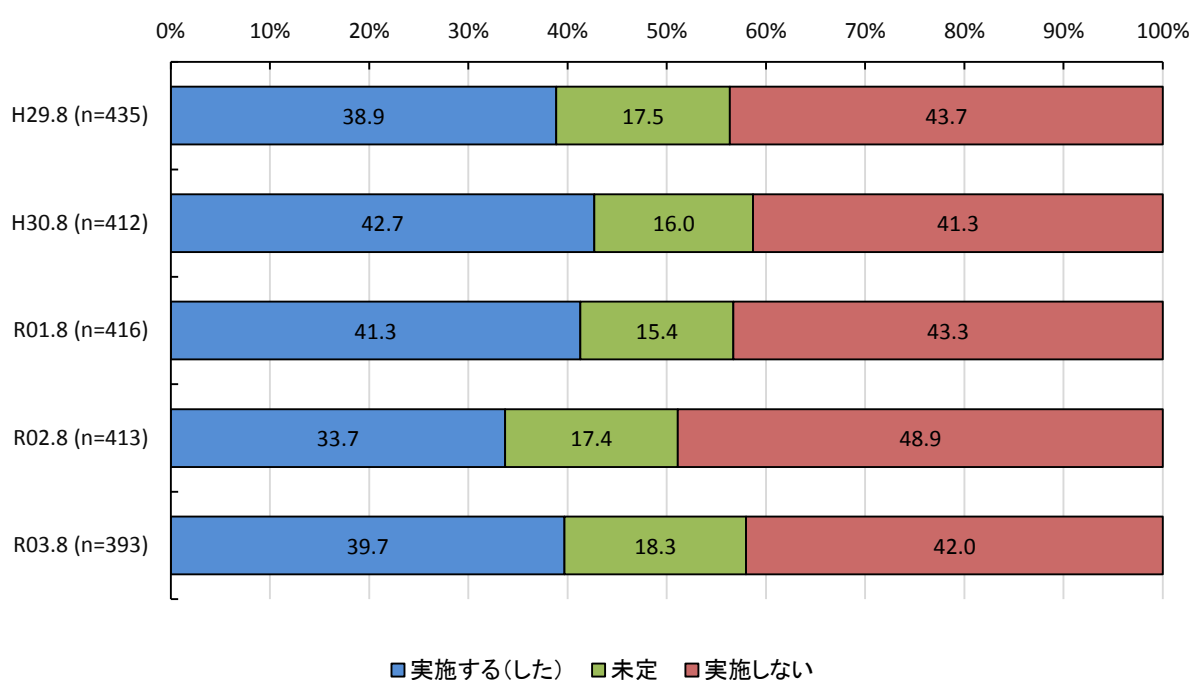
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

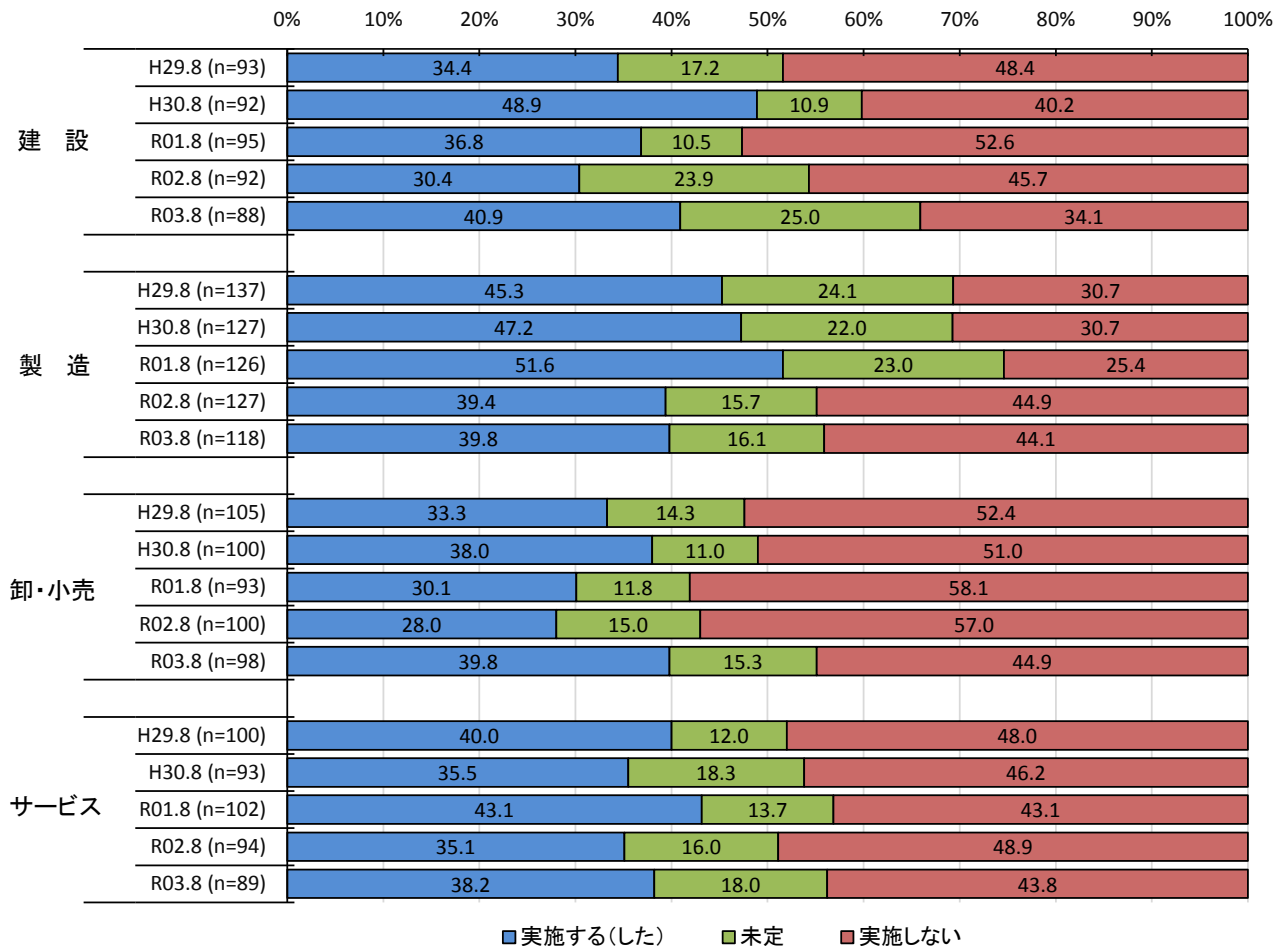
令和 3 年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 39.7%と、前年度に比べ 6.0 ポイントの上昇となった。一方、「実施しない」は 42.0%と 6.9 ポイントの低下となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



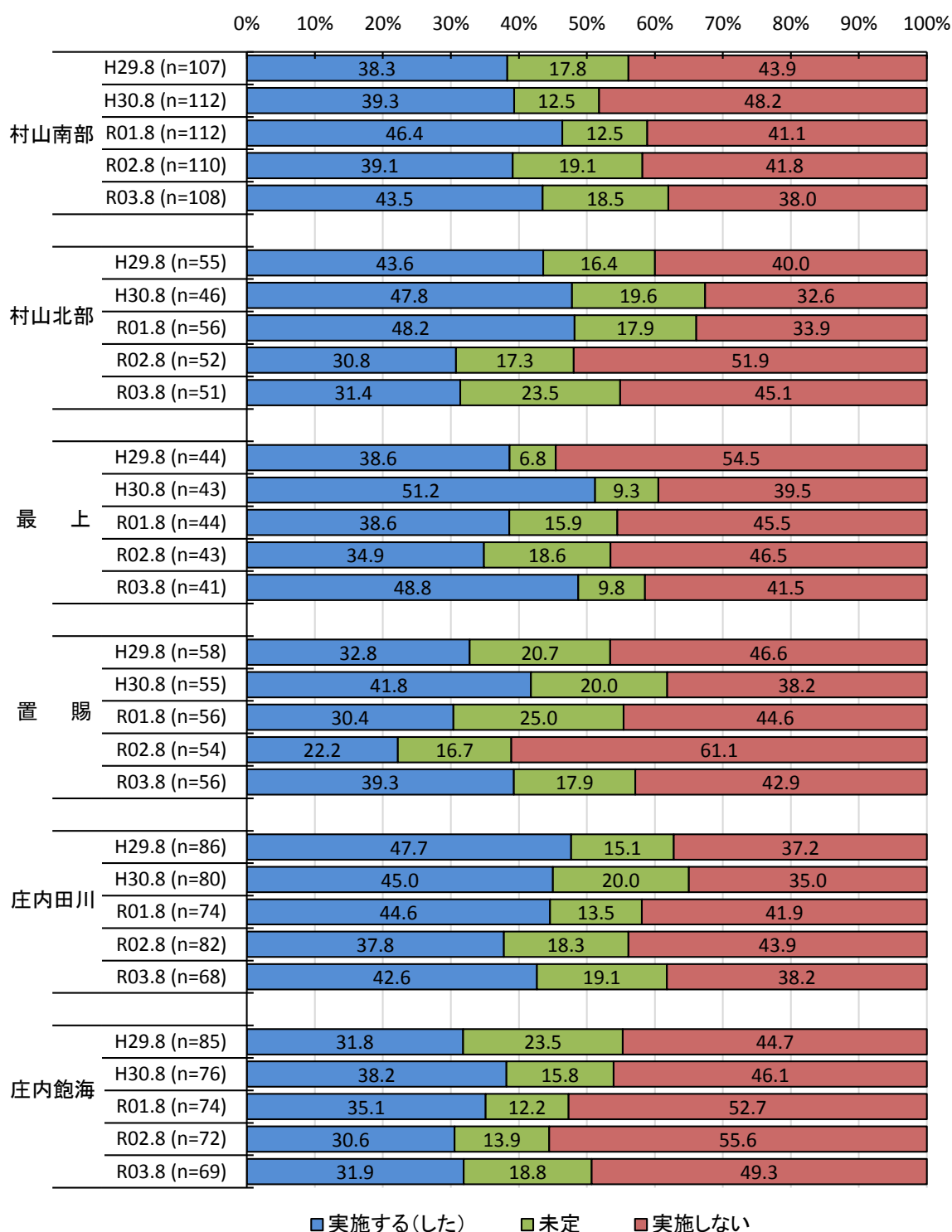
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 40.9%（前年度比 10.5 ポイント上昇）、製造業が 39.8%（前年度比 0.4 ポイント上昇）、卸・小売業が 39.8%（前年度比 11.8 ポイント上昇）、サービス業が 38.2%（前年度比 3.1 ポイント上昇）と、業種によって上昇幅にばらつきはあるものの、すべての業種で上昇となった。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



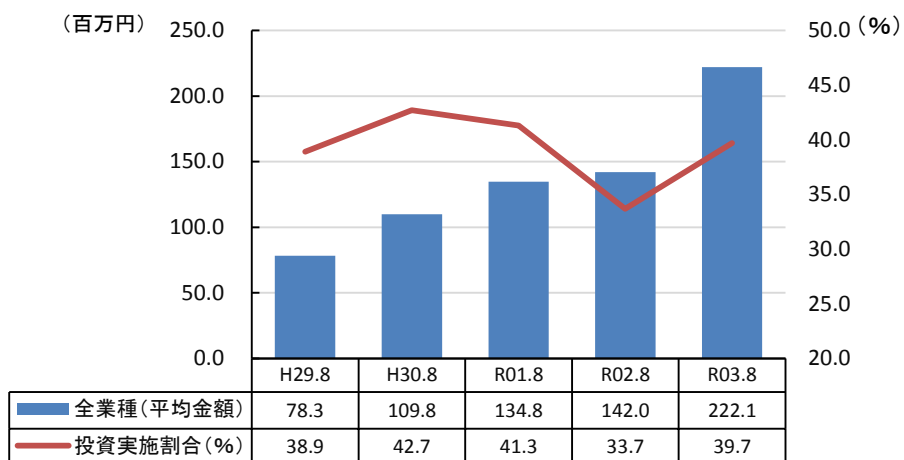
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 43.5%（前年度比 4.4 ポイント上昇）、村山北部は 31.4%（前年度比 0.6 ポイント上昇）、最上は 48.8%（前年度比 13.9 ポイント上昇）、置賜は 39.3%（前年度比 17.1 ポイント上昇）、庄内田川は 42.6%（前年度比 4.8 ポイント上昇）、庄内飽海は 31.9%（前年度比 1.3 ポイント上昇）となり、すべての地域で上昇となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



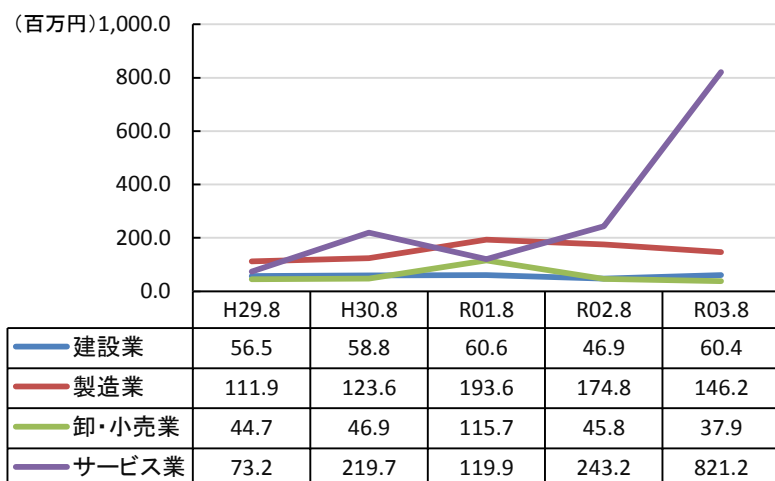
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



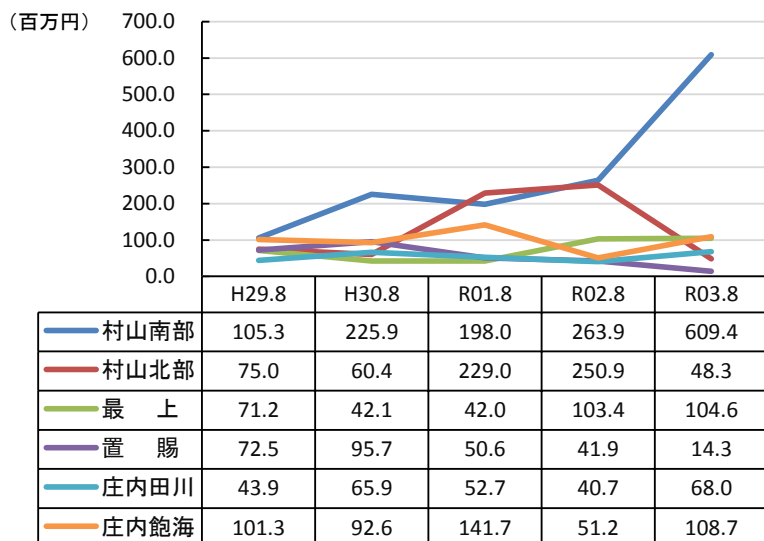
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は2億2,210万円で、前年度より8,010万円増加した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が6,040万円(前年度比1,350万円増加)、製造業が1億4,620万円(前年度比2,860万円減少)、卸・小売業が3,790万円(前年度比790万円減少)、サービス業が8億2,120万円(前年度比5億7,800万円増加)となり、建設業とサービス業で増加、製造業と卸・小売行で減少となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

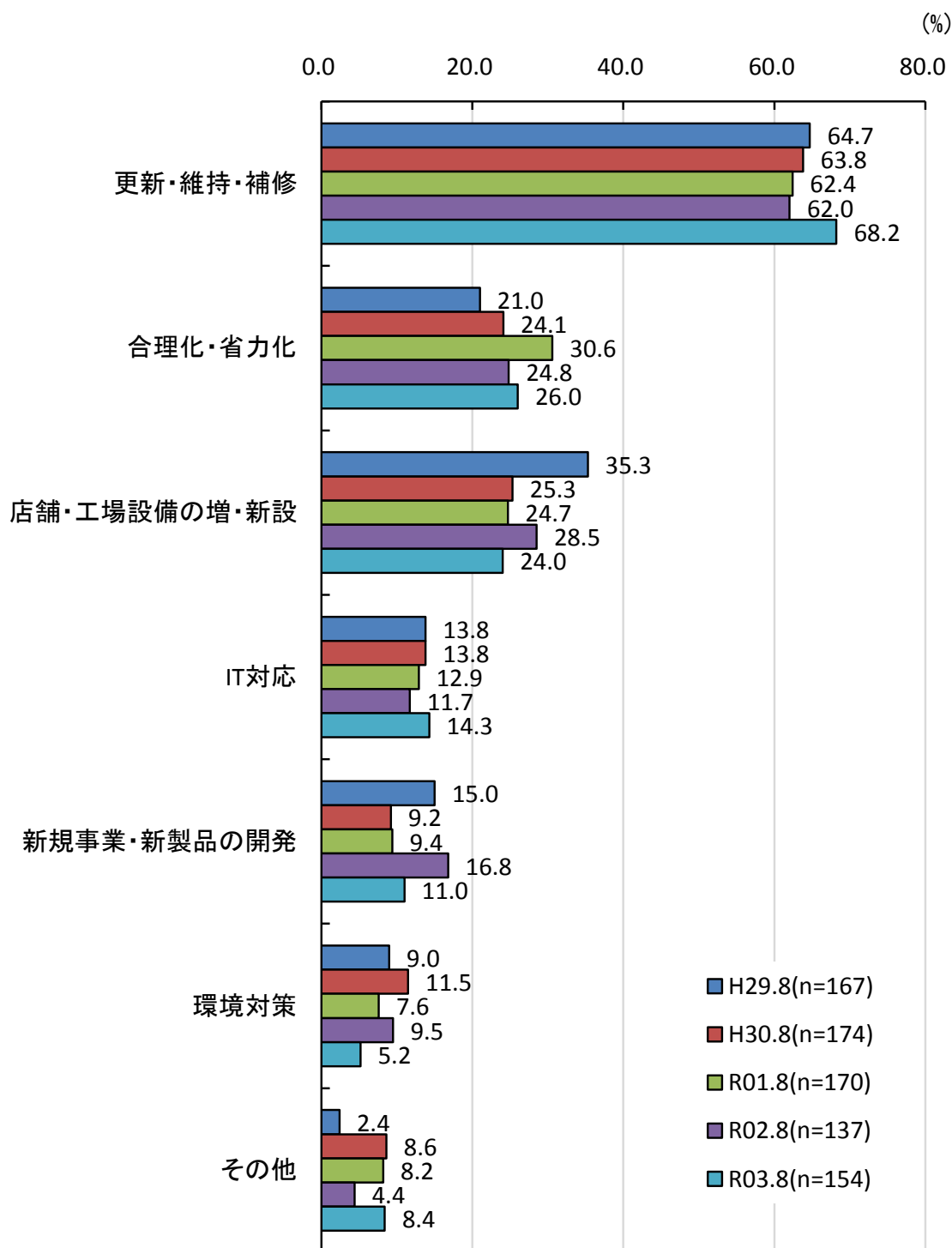


地域別にみると、村山南部が6億940万円(前年度比3億4,550万円増加)、村山北部が4,830万円(前年度比2億260万円減少)、最上が1億460万円(前年度比120万円増加)、置賜が1,430万円(前年度比2,760万円減少)、庄内田川が6,800万円(前年度比2,730万円増加)、庄内飽海が1億870万円(前年度比5,750万円増加)となり、村山南部、最上、庄内田川、庄内飽海で増加、村山北部と置賜で減少となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が 68.2%と最も高くなった。次いで、前年は設備投資目的の第 3 位であった「合理化・省力化」が 26.0%で第 2 位となり、「店舗・工場設備の増・新設」が 24.0%で続いた。

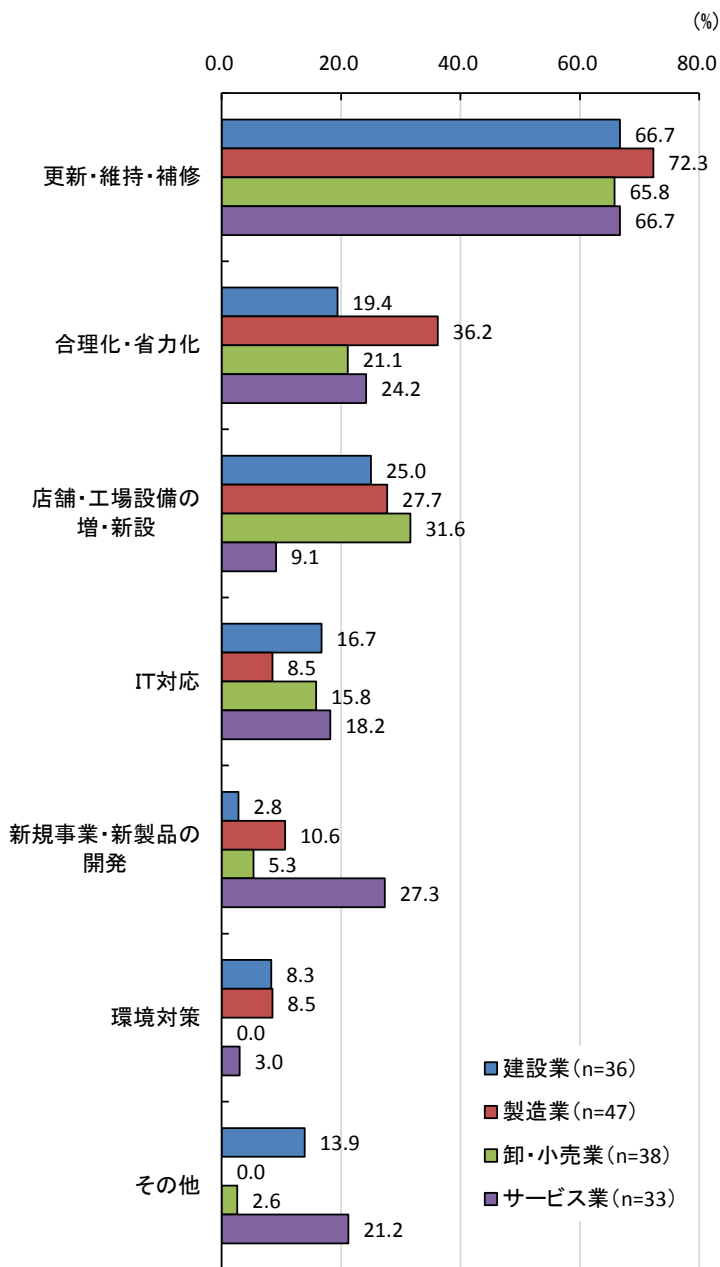
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



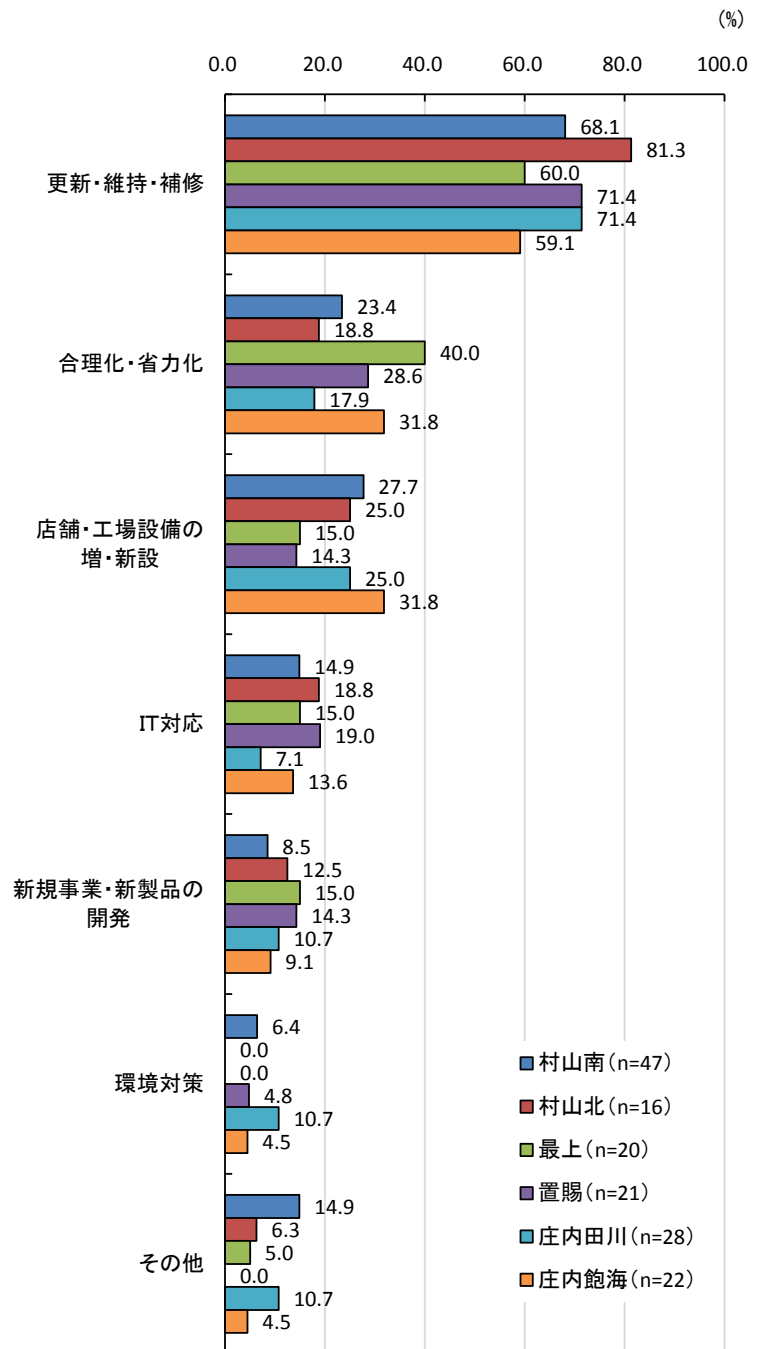
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持・補修」が最も高く、建設業と卸・小売業では「店舗・工場設備の増・新設」、製造業では「合理化・省力化」、サービス業では「新規事業・新製品の開発」が第 2 位となっている。次いで、製造業では「店舗・工場設備の増・新設」、その他の 3 業種では「合理化・省力化」が第 3 位と続いた。

地域別にみると、すべての地域で「更新・維持・補修」の回答割合が最も高かった。第 2 位以下は地域によってばらつきがみられる。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答)



図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答)



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	35	44	53	154
村山北部	20	32	17	17	86
最 上	21	18	10	17	66
置 賜	23	27	25	12	87
庄内田川	29	37	28	28	122
庄内飽海	34	33	31	36	134
合 計	149	182	155	163	649

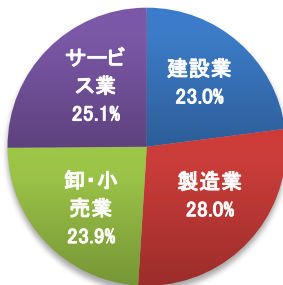
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	16	25	30	37	108
村山北部	11	19	12	9	51
最 上	16	11	8	6	41
置 賜	11	22	14	9	56
庄内田川	19	21	17	11	68
庄内飽海	15	20	17	17	69
合 計	88	118	98	89	393

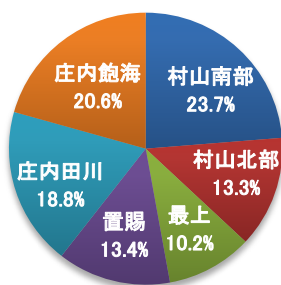
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	72.7	71.4	68.2	69.8	70.1
村山北部	55.0	59.4	70.6	52.9	59.3
最 上	76.2	61.1	80.0	35.3	62.1
置 賜	47.8	81.5	56.0	75.0	64.4
庄内田川	65.5	56.8	60.7	39.3	55.7
庄内飽海	44.1	60.6	54.8	47.2	51.5
合 計	59.1	64.8	63.2	54.6	60.6

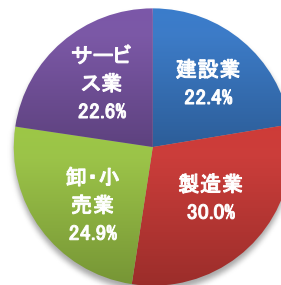
サンプル割合（業種別）



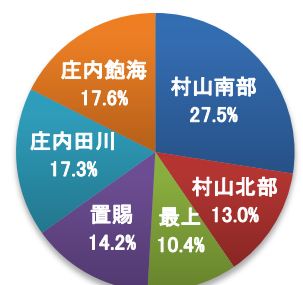
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 3 年 8 月 2 日（月）～17 日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>